

一般社団法人日本調理科学会 2020 年度第 3 回理事会議事録（案）

日 時：令和 2 年 8 月 31 日（月）10:00- 11:00

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長、新井映子筆頭副会長、高村仁知副会長、平尾和子副会長、中村恵子、佐藤靖子、飯田文子、阿久澤さゆり、名倉秀子、数野千恵子、小西史子、磯部由香、和泉秀彦、坂本薫、升井洋至、菊崎泰枝、五島淑子、岡本洋子、久木野睦子、郡田美樹、酒井宏子、三宅裕子、宮藤章（以上理事 23 名） 峯木眞知子、藤井恵子（以上監事 2 名）

欠席者：三成由美（以上理事 1 名）

本日の理事会は、定款第 33 条 理事の過半数の出席（理事 24 名中 23 名出席、欠席 1 名）を満たし成立。

【配付資料】

資料 1：（一社）日本調理科学会 2020 年度第 2 回理事会みなし決議に関する理事会議事録

資料 2：（一社）日本調理科学会 2020 年度第 3 回理事会報告資料（編集委員会）

資料 3：（一社）日本調理科学会 2020 年度第 3 回理事会報告資料（情報管理委員会）

資料 4：次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会 報告

資料 5：創立 50 周年記念出版委員会 報告

資料 6：（一社）日本調理科学会 2020 年度大会の開催準備状況等について

資料 7：大会開催地一覧

資料 8：規程集「VI-2-6 転載利用許諾に関する申合せ」改正

資料 9：COVID-19 下における調理実習の実施に関するアンケート

当日資料：新入会員申込者

追加資料：（一社）日本調理科学会 2021 年度大会

1. 議長、議事録作成人、署名人選出

前例により、議長は綾部会長、議事録作成人は小西庶務担当理事、議事録署名人は綾部会長、新井筆頭副会長、峯木監事、藤井監事とする。

2. 前回議事録確認

前回理事会みなし決議に関する理事会議事録案（資料 1）を確認し、これを満場一致で了承した。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告

綾部会長より、前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり、新井筆頭副会長は庶務・編集担当として、平尾副会長は企画・広報担当として、高村副会長は情報担当として、会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

(2) 常置委員会からの報告

1) 編集委員会

新井副会長より、資料 2 に基づき論文審査状況の報告があった。

2) 情報管理委員会

高村副会長より、資料 3 に基づき 2020 年度大会 WEB サイト公開の件、ホームページ更新の件、メールニュース発行の件、論文等の転載許可申請への対応の件の報告があった。

(3) 特別委員会報告

1) 刊行委員会

綾部会長より、創立 40 周年記念事業クッカーサイエンスシリーズ刊行について、2025 年 12 月迄に提出された原稿を出版対象とし、原稿申し込み期限を 2021 年 3 月とする旨、学会誌に掲載するとの報告があった。

2) 規程委員会

高村副会長より、本日審議事項で提案をするとの報告があった。

(4) 研究委員会からの報告

1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

綾部会長より、2019 年の活動内容についての報告と、2020 年度は大会中止に伴い、活動休止であるとの報告があった。

2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

平尾副会長より資料 4 に基づき、2020 年度大会中止に伴い、ポスター発表を 2021 年度、2022 年度大会に繰り下げて実施予定、2021 年度は主菜・副菜、2022 年度は行事・全体のまとめの CD を作成・配布予定であるとの報告があった。報告書作成、今後の新企画については、検討予定であるとの報告があった。

(5) 創立 50 周年記念出版委員会からの報告

綾部会長より資料 5 に基づき、農林水産省プロジェクトの「うちの郷土料理」と、「伝え継ぐ 日本の家庭料理」のレシピがほぼ同じになっているケースがあったので、著作委員全員宛てに注意喚起し、不明な点を農文協へ相談してもらうための依頼文を全国配信するとの報告があった。また、協力者から記載内容が話した内容と異なるとの異議が出されたので、協力者に校正原稿の内容確認依頼を出すよう著作委員に連絡するとの報告があった。さらに、別冊うかたま（全 16 冊）掲載以外のレシピのアーカイブ化についても予定しているとの報告があった。16 冊に掲載した情報（約 1400 品）を 2021 年 9 月から 12 月を目標に公開し、その後、掲載できなかった情報（約 500 品）を加えたバージョンアップ版を 2022 年度に公開することを目指し、索引・文献もつけることが報告された。

(6) 2020 年度大会

中村東北・北海道支部長より資料 6 に基づき、2020 年度大会は中止になったが、2019 年 6 月から 2020 年 4 月迄の準備状況、4 月以降の大会中止に伴う手続き及び大会収支決算案について報告があった。

(7) 2020 年度学会賞受賞者の告知

綾部会長より、年次大会が中止となり学会賞授与式が開催できなくなったため、2020 年度学会賞受賞者の報告を日本調理科学会誌第 53 巻 4 号に掲載した旨報告があった。

(8) その他

なし

【審議事項】

(1) 新入会員承認

綾部会長より当日資料に基づき、7 名の新入会員（正会員）の説明があり、所属等の確認を行い、これを満場一致で承認した。

(2) 2021 年度大会

数野理事より追加資料に基づき、2021 年度大会は実践女子大学日野キャンパスにて 2021 年 9 月 7 日（火）、8 日（水）に開催予定であるが、オンラインか否かは演題登録前迄に調整することが報告された。

(3) 2022 年度以降の大会開催地

坂本近畿支部長より、2022 年度大会は兵庫県立大学（姫路市）で開催するよう検討中であるとの報

告があった。綾部会長より資料7に基づき、2023年以降の開催地について説明があった。

(4) 規程集「VI-2-6 転載利用許諾に関する申合せ」改正

高村副会長より資料8に基づき、規程集「VI-2-6 転載利用許諾に関する申合せ」 p.37の2. 学術著作権協会への転載利用許諾業務委託について、以下のような改正をしたいと説明があり、満場一致で承認された。

《現行》賛助会員以外の企業・団体からの転載利用の申し出があった場合は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している転載許諾システムを通じて申請してもらう。

【改正】賛助会員以外の企業・団体からの転載利用の申し出があった場合、非営利団体かつ教育目的であれば無料とし、それ以外の場合は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している転載許諾システムを通じて申請してもらう。

《現行》附記 この申し合わせは、令和元年8月25日から施行する。

【改正】附記 この申し合わせは、令和元年8月25日から施行する。

この申し合わせは、令和2年8月31日から施行する。

(5) COVID-19 下における調理実習の実施に関するアンケート

綾部会長より資料9に基づき、コロナ禍における調理実習の実施に関するアンケート調査を実施し、記録に留める必要性があるとの提案があり、満場一致で承認された。質問内容に関する検討が行われた。官能評価試験の実施に関する項目も追加することが提案された。

(6) その他

なし

【その他】

(1) 次回理事会の件

綾部会長より、次回理事会は令和3年1月末にオンラインで開催予定であることが報告された。

議事録署名人

会長	綾部園子	印
筆頭副会長	新井映子	印
監事	峯木真知子	印
監事	藤井恵子	印